

第2章 地域福祉を取り巻く現状

第2章 地域福祉を取り巻く現状

1 人口と世帯数

総人口は減少傾向にあり、平成20年の34,595人から平成24年の33,392人と、5年間で1,203人減少しています。年齢3区分人口を見ると、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）は年々減少しているのに対し、老年人口（65歳以上）は増加しています。高齢化比率は、5年間で1.8ポイント増加しており、少子高齢化の進行がうかがえます。

また、世帯数は増加の傾向にあるため、1世帯当たりの人員は減少し続けており、核家族化、高齢者単身世帯や高齢夫婦世帯の増加などによる世帯の小規模化の進行がうかがえます。

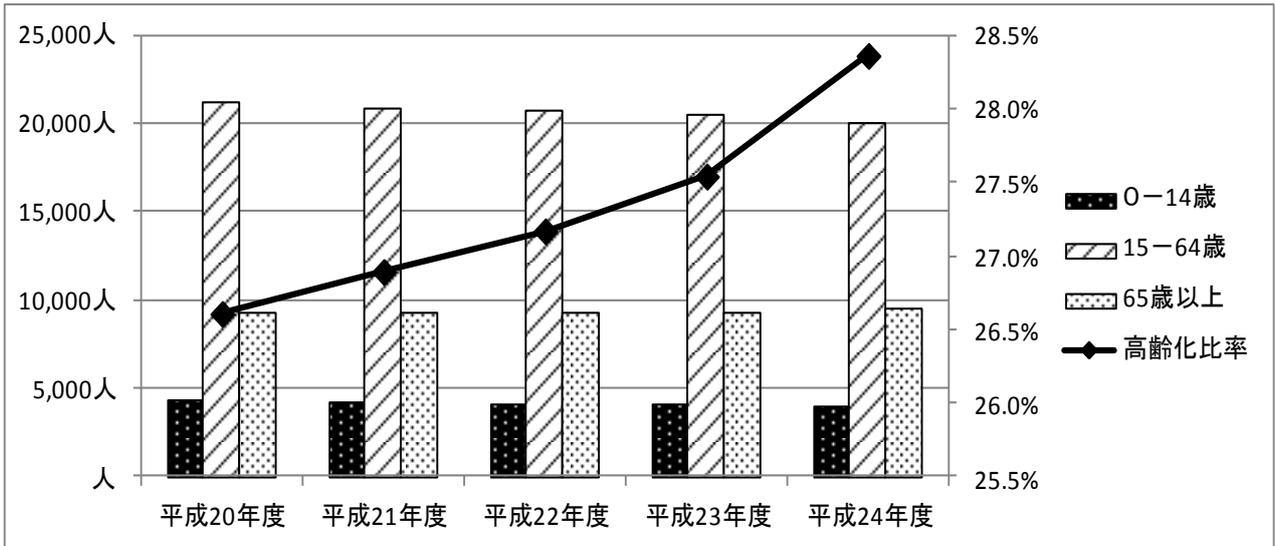
人口と世帯の推移

（単位：人、％）

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
0－14歳	4,275	4,204	4,061	4,011	3,891
15－64歳	21,115	20,865	20,640	20,413	20,030
65歳以上	9,205	9,222	9,215	9,284	9,471
高齢化比率	26.6%	26.9%	27.2%	27.5%	28.4%
世 帯 数	11,057	11,124	11,231	11,357	11,517

資料：住民基本台帳（各年度末現在）

年齢3区分人口と高齢化比率の推移



2 出生数の推移

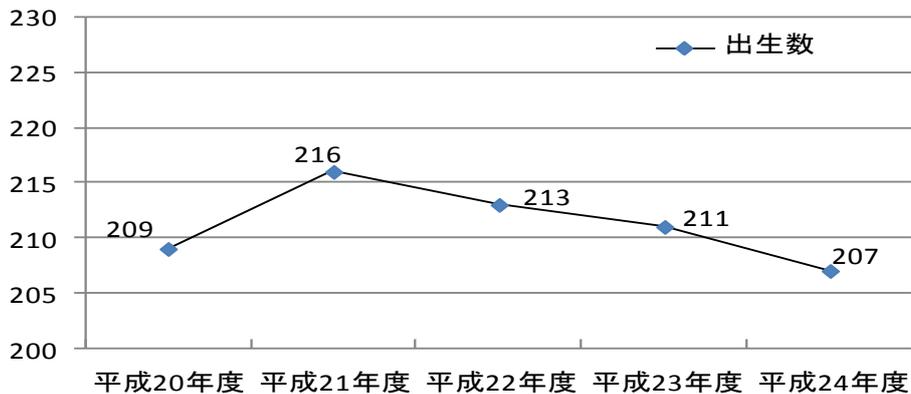
本市の出生数は、平成20年に急激に減少した影響で、平成21年に一時的に増加したものの、平成22年以降、再び減少傾向に転じ、少しずつではありますが年々減少しています。

出生数の推移

(単位：人)

年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
出生数	209	216	213	211	207

資料：青森県人口動態統計（各年1月～12月）



3 高齢者（65歳以上）世帯数の推移

65歳以上の一人暮らし世帯について、平成20年度以降の住民基本台帳数値からの推移をみると、年平均0.8%の比率で増加しており、今後も増加していくものと思われます。

高齢者世帯数

(単位：世帯、人、%)

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
世帯総数	11,057	11,124	11,231	11,357	11,517
65歳以上一人暮らし世帯数	1,187	1,318	1,360	1,411	1,603
世帯総数に対する比率	10.7%	11.8%	12.1%	12.4%	13.9%

(資料：住民基本台帳)

高齢者世帯数と世帯総数に対する比率



4 高齢者（65歳以上）に占める要介護等認定者の状況

本市の要支援・要介護認定者は、平成25年3月末現在で2,066人となって

います。過去の推移をみると、全体的ゆるやかな増加傾向にあります。高齢化に伴い、今後さらに認定者数の増加が見込まれます。

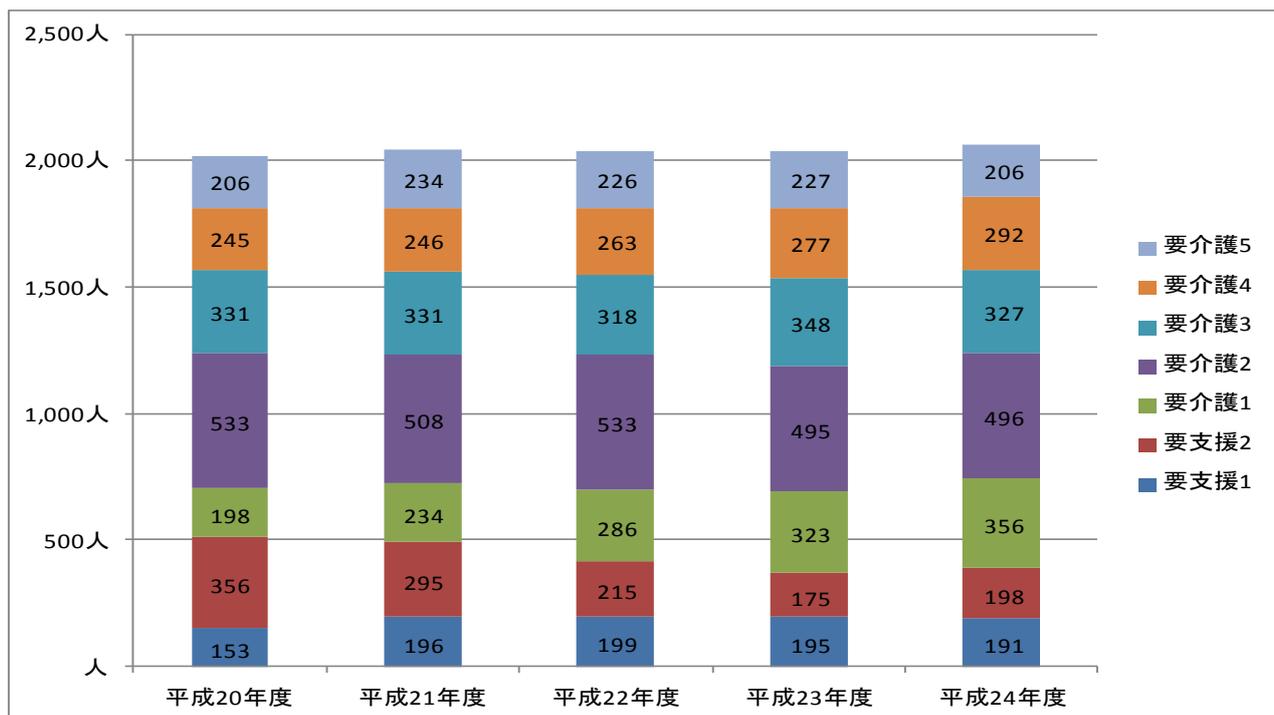
要介護度別認定者数

(単位：人)

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
要支援1	153	196	199	195	191
要支援2	356	295	215	175	198
要介護1	198	234	286	323	356
要介護2	533	508	533	495	496
要介護3	331	331	318	348	327
要介護4	245	246	263	277	292
要介護5	206	234	226	227	206
合 計	2,022	2,044	2,040	2,040	2,066

資料：介護保険事業状況報告（各年度末現在）

要介護度別認定者数の推移



5 障害者手帳等所持者の状況

身体障害者手帳所持者について、平成20年度と24年度の数値で比較すると微増となっています。

愛護手帳と精神保健福祉手帳については、いずれも年々増加傾向にあり、特に愛護手帳所持者の伸び率が高くなっています。

障害者手帳等所持者数

(単位：人)

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
身体障害者手帳	1,494	1,519	1,532	1,592	1,597
愛護（療育）手帳	267	269	269	272	285
精神障害者保健福祉手帳	183	190	217	212	211

資料：身体障害者管理台帳

障害者手帳を所持することによる各種制度（主なもの）

○重度心身障害者医療制度（重度医療）制度

内 容：障害者が病院等で支払う自己負担分の医療費の助成

対象者：身体障害者手帳1、2級及び内部障害3級の人・愛護（療育）手帳Aの人・精神障害者保健福祉手帳1級の人 ※年齢、所得等の制限があり

○障害者有料道路通行料金割引制度

内 容：障害者が有料道路を通行する際の割引制度（利用料金が5割引）

対象者：①身体障害者の方が自ら運転する場合 ②身体障害者手帳「第1種」の方、重度の愛護（療育）手帳の方が同乗し、障害者以外の方が運転する場合

○NHK放送受信料の減免制度

内 容：障害の内容等によるNHK放送受診料の減免制度

対象者：【全額免除】身体障害者、知的障害者、精神障害者が世帯の構成員であり、世帯全員が市町村民税非課税の場合

【半額免除】世帯主が視覚や聴覚に障害者がある場合や重度の障害者である場合

6 生活保護の状況

本市の生活保護受給状況は、高齢者世帯の増加、長引く不況による雇用情勢の悪化、障害者（精神疾患）の増加、離婚等による母子家庭の増加などにより、年々増える傾向にあります。

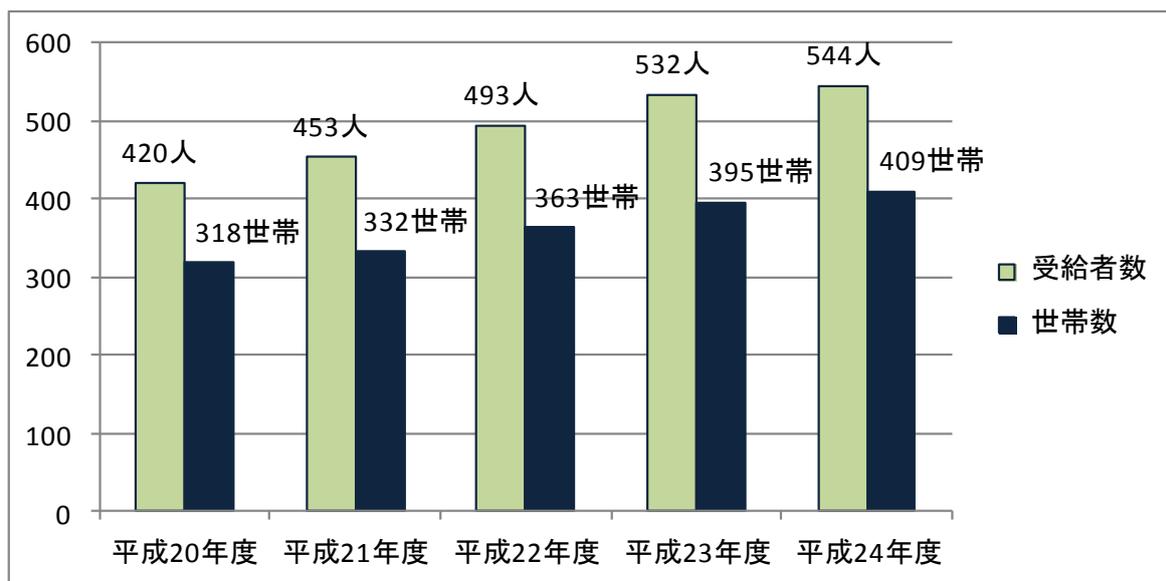
生活保護の状況

（単位：人、世帯、‰、％）

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
受給者数	420	453	493	532	544
世帯数	318	332	363	395	409
保護率（‰）	12.08	13.15	14.16	15.74	16.22
全世帯比率（％）	2.88	2.98	3.23	3.48	3.55

資料：福祉行政報告

生活保護受給者数と世帯数の推移



7 主要死因の状況

死亡原因を見ると、悪性新生物、心疾患、肺炎が大半を占めており、3大生活習慣病（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）による死亡者数も多い状況が続いています。一方、自殺による死亡者数は年々減少傾向にあります。

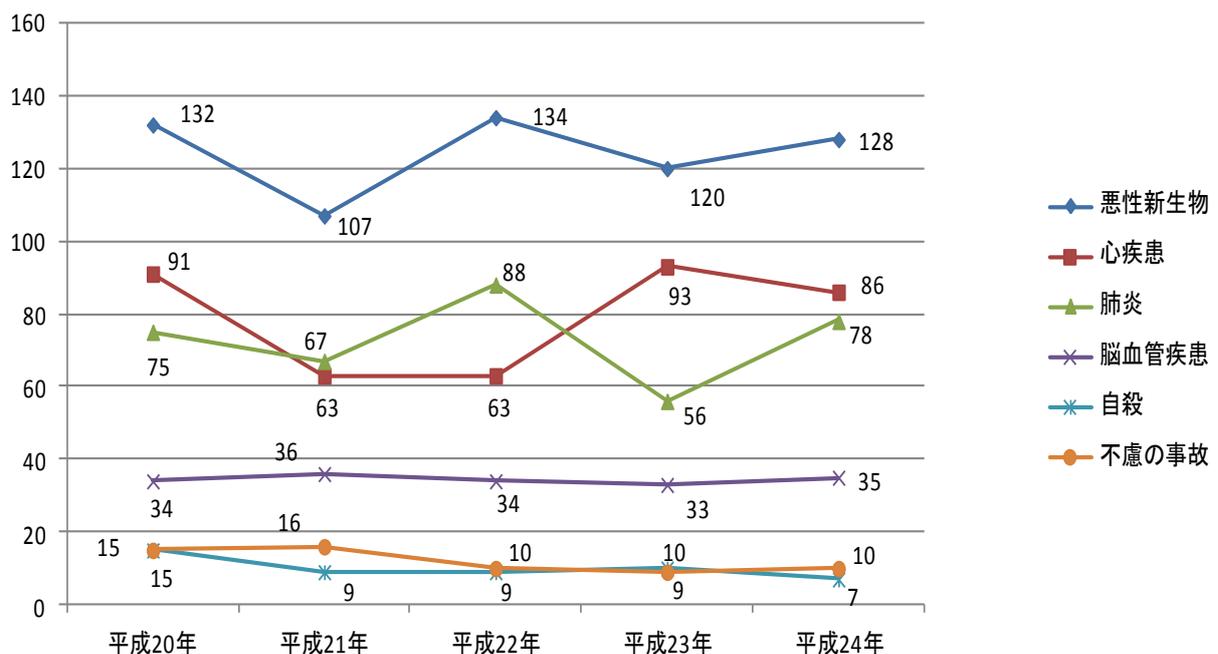
主要死因別死亡者数

(単位：人)

死亡原因	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
悪性新生物	132	107	134	120	128
心疾患	91	63	63	93	86
肺炎	75	67	88	56	78
脳血管疾患	34	36	34	33	35
自殺	15	9	9	10	7
不慮の事故	15	16	10	9	10

資料：青森県人口動態統計（各年1月～12月）

主要死因別死亡者数の推移



8 健診受診者数の状況

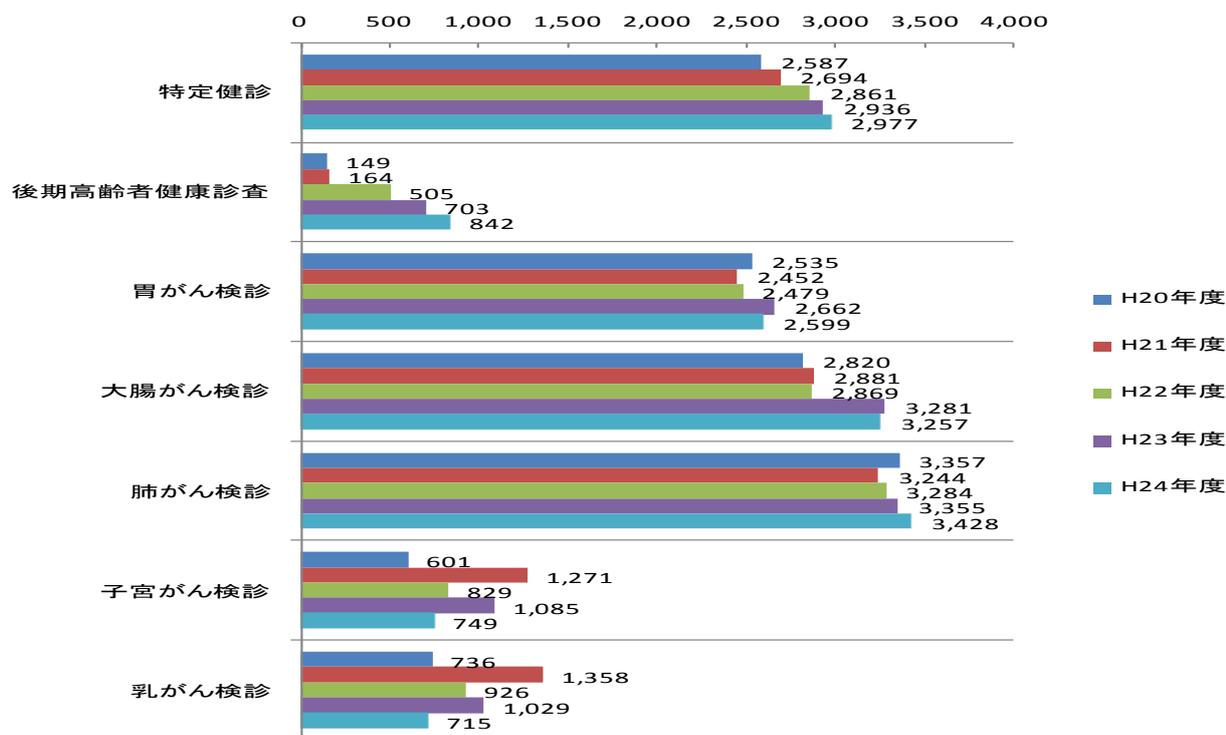
特定健診、後期高齢健康診査とも受診者数は年々伸びている状況です。また、各がん検診についても伸びていますが、子宮がん・乳がん検診は、隔年受診となるため、受診者が多い年と少ない年を交互に繰り返している状況です。

健診受診者数

(単位：人)

種 別	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
乳がん検診	736	1,358	926	1,029	715
子宮がん検診	601	1,271	829	1,085	749
肺がん検診	3,357	3,244	3,284	3,355	3,428
大腸がん検診	2,820	2,881	2,869	3,281	3,257
胃がん検診	2,535	2,452	2,479	2,662	2,599
後期高齢健康診査	149	164	505	703	842
特定健診	2,587	2,694	2,861	2,936	2,977

資料：保健活動のまとめ



9 乳幼児健診実施状況

本市の乳幼児健診は1歳6か月児健診、3歳児健診とも毎月1回実施しており、受診率は100%から96%台を推移しています。乳幼児健診対象者は、出生数と相対関係にあるため、今後減少傾向が進むと予想されます。

乳幼児健診実施状況

(単位：人、%)

年 度	1歳6か月児健診			3歳児健診		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
平成20年度	238	238	100.0%	256	254	99.2%
平成21年度	238	233	97.9%	243	240	98.7%
平成22年度	199	195	98.0%	232	227	97.8%
平成23年度	220	213	96.8%	239	236	98.7%
平成24年度	218	215	98.6%	211	205	97.2%

資料：保健活動のまとめ